

チェコの俊英ネトピルが、
同郷の偉大なる作曲家
ドヴォルザークの名曲に
熱い思いを込める!



ウィーン国立歌劇場や
ベルリン・フィルに客演するなど
欧州で頭角を現すチェコの俊英

指揮=トマーシュ・ネトピル
Conductor= TOMÁŠ NETOPIIL

©読響

マルティヌー (ヴォストルシャーク編): 歌劇「ジュリエッタ」組曲

MARTINU (arr. VOSTRÁK): "Julietta" Suite

モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K. 219 「トルコ風」

MOZART: Violin Concerto No. 5 in A major, K. 219 "Turkish"

ドヴォルザーク: 交響曲第9番 ホ短調 作品95 「新世界から」

DVOŘÁK: Symphony No. 9 in E minor, op. 95 "From the New World"

読売日本交響楽団
第252回土曜マチネーシリーズ
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra
Saturday Matinée Series No. 252

読売日本交響楽団
第252回日曜マチネーシリーズ
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra
Sunday Matinée Series No. 252

2022年11月26日(土)
Saturday, 26 November 2022

2022年11月27日(日)
Sunday, 27 November 2022

両日とも14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

お申し込み・
お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時
年中無休)

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

<https://yomikyo.or.jp/>



昨年ミュンヘン国際コンクールで優勝し、
話題の気鋭ヴァイオリニスト

ヴァイオリン=岡本誠司
Violin= SEIJI OKAMOTO

チエコの俊英ネトピルが振る「新世界」 難関コンクールに優勝し、注目を浴びる岡本誠司が共演！



©Pavel Petrus

チェコ・フィルの首席客演指揮者を務めるチェコの俊英トマーシュ・ネトピルが登場し、お国もののドヴォルザーク「新世界」などを披露します。

ネトピルは、欧州で着実にキャリアを積み上げ、現在音楽総監督を務めているドイツのエッセン歌劇場でも充実した活動を展開しています。ウィーン国立歌劇場をはじめ、ドレスデン国立歌劇場、ジュネーヴ歌劇場などにも客演し、読響にも2019年に初登場し高い評価を得ました。

今回、ネトピルはチェコの音楽を代表する有名な「新世界」で、同郷への熱い思いを込めて演奏します。遠いアメリカから故郷ボヘミアへの思いを込めたドヴォルザークの旋律は、時代と国を越えて私たちの心に迫ることでしょう。第2楽章の“家路”のメロディは、温かい懐かしさを呼び起こし、終楽章での金管楽器の壮麗なサウンドは、聴衆を興奮のクライマックスへと誘います。

1曲目には、20世紀チェコを代表する作曲家マルティヌーの歌劇「ジュリエッタ」からの組曲（ヴォストルシャーク編）を演奏します。マルティヌーは6曲の交響曲を作曲していますが、数々のオペラ作品も残しています。中でも「ジュリエッタ」は重要作とされているため、同組曲をオペラ作品の指揮に長けたネトピルの指揮で聴けるのは、大変貴重な機会です。チェコ音楽ファンには、必聴ものの演奏になるでしょう。マルティヌーの独特の響きをお楽しみください。

前半には、ベルリンを拠点とする新鋭ヴァイオリニストの岡本誠司が共演します。昨年、最難関の一つとされるミュンヘン国際コンクールで優勝し、一躍世界の注目を浴びる存在となりました。J.S.バッハから近現代作品まで実直に作品に向き合い、様々なスタイルで実力を高めてきた岡本が、今回モーツァルトの傑作協奏曲「トルコ風」を弾きます。様式美と情感を絶妙なバランス感覚で表し、モーツァルト作品の神髄に迫るでしょう。どうぞ、ご期待ください。



©Yuji Ueno

指揮=トマーシュ・ネトピル

Conductor= TOMÁŠ NETOPIIL

シンフォニーとオペラの両方で国際的に活躍するチェコの俊英。2002年の第1回ショルティ国際指揮コンクールで優勝。プラハ国民劇場の音楽監督などを歴任し、現在ドイツの名門エッセン歌劇場とエッセン・フィルの音楽総監督、チェコ・フィルの首席客演指揮者を務めている。これまでに、ベルリン・フィル、バイエルン放送響、ウィーン響、ドレスデン国立歌劇場管、バリ管、ロンドン・フィルなどに客演。オペラではウィーン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン国立歌劇場、パリ国立オペラなどで活躍している。ヤナーチェク、マルティヌー作品などを得意とするほか、モーツァルト、R.シュトラウス作品などでも高い評価を得ている。読響には19年以来、2度目の客演。

ヴァイオリン=岡本誠司

Violin= SEIJI OKAMOTO

楽曲の本質を真摯に追い求める本格派ヴァイオリニスト。東京芸術大学を卒業後、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学の修士課程修了。J.S.バッハ国際コンクール優勝、ヴェニツァフスキ国際コンクール第2位など受賞歴多数。2021年ミュンヘン国際コンクール第1位となり、大きな話題を呼んだ。現在はクロンベルク・アカデミーに在籍し、ベルリンを拠点に日本と欧州でソロ、室内楽など精力的に活動を展開している。ベルギー国立管、サンクトペテルブルク響、読響などと共演。ライブツイヒ・バッハ音楽祭、ムジカ・ムンディ音楽祭などの国際音楽祭にも出演。楽器はNPO法人イエロー・エンジェルからG.F.ブレッセンダの貸与を受け、(株)日本ヴァイオリンから名器貸与特別助成を受けている。

読売日本交響楽団 第252回 土曜マチネーシリーズ

2022年 **11月26日** (土) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

観覧券 東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306 (予約受付:平日9時-17時) 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未成年者のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読売日本交響楽団 第252回 日曜マチネーシリーズ

*座席選択可/チケット郵送料無料

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296